

日本のヒラメ消費量と価格 －20年間の推移－

2014年9月30日
太平洋貿易株式会社
田嶋 猛

NHKテレビ番組クローズアップ現代で、2014年6月19日に「養殖ビジネス 国際競争時代～日本の活路は～」が放送された約1ヶ月前、担当ディレクターから「御社のHPのヒラメに関する資料を見たが、韓国からのヒラメ輸入について質問したい」との電話があった。弊社のHPの資料とは「日韓ヒラメ消費量の一考察」（2009年1月31日）と「日本のヒラメ活魚輸入について」（2010年3月5日）であった。当時のヒラメ活魚の輸入数量と金額は、財務省貿易統計の中で、ヒラメ以外ハモやアナゴ等の活魚も含む「魚(生きているものに限る)HS code(注1) 0301.99.290 その他の物 関税率 3.5%(アセアン)」に分類されていた。そのため、輸入数量等は韓国統計庁の資料と日本財務省の貿易統計の双方から推定した。その後、2010年からは独立した関税番号「0301.99.220 ひらめ (パラリクティス属のもの)」が付与されたことにより、日本のヒラメ活魚輸入量と金額を特定できることになった。

その結果、2010年以降のヒラメ活魚輸入相手国は韓国だけで、日本での輸入税関は下関、博多、大阪の3支署で99%以上を占めることが判明した。なお、2009年以前のヒラメ活魚輸入数量と金額は2010年の下関、博多、大阪税関支署の韓国から輸入の「ヒラメ活魚(HS.NO. 0301.99.220)」と「その他活魚(HS.NO 0301.99-290)」の比率から推定した。国内の生産量と金額は農林水産省のHPから抜粋した。

注1* 「HS code」は日本語で「輸出入統計品目番号」、「関税番号」、「税番」などと呼ばれており、貿易対象品目の名称及び分類についての統一システム(Harmonized Commodity Description Coding System)に関する国際条約(HS条約)に基づいて定められたコード番号のことである。

日本のヒラメ消費量の推移

日本のヒラメ消費量は表1、図1に示すように1997年の18,000トンを経ピークにその後減少したが、図2に示すように1997年の韓国の養殖生産量は急増し、同年7月発生したアジア通貨危機で韓国ウォンが急落し、ヒラメ価格も下落したため、韓国からの輸入数量は増加していった。1997年以降右肩下がりの日本の消費量は、2005年には景気回復と韓国産輸入急増で16,000トンに戻り、2007年はウォン高の影響もあり輸入量は減少したが、2008年のリーマンショック以降輸入が増加し、2011年4月のヒラメクドア食中毒新聞報道の影響で急速に減少している。

日本のヒラメ価格の推移

日本で消費されるヒラメ価格は表1、図3に示すように、1993年は1kg当たり天然2,700円、養殖2,200円、輸入1,600円と各々価格差があったが、韓国からの輸入の増加に伴い国産の天然物も養殖物も輸入価格に近づくように下落していき、2011年以降は1,100円前後に低迷している。

以上

表1 日本の漁獲、養殖、輸入ヒラメ数量と価格

単位 数量:トン 金額:百万円 単価:円/kg

年次	天然ヒラメ			養殖ヒラメ			韓国からの輸入ヒラメ			日本のヒラメ消費		
	漁獲量	金額	単価	収穫量	金額	単価	輸入量	金額	単価	数量	金額	単価
1993	6,464	17,426	2,696	6,775	15,077	2,225	408	642	1,573	13,647	33,145	2,429
1994	6,667	17,479	2,622	7,292	16,252	2,229	402	677	1,683	14,361	34,408	2,396
1995	7,558	16,514	2,185	6,845	15,948	2,330	732	1,228	1,678	15,135	33,690	2,226
1996	8,311	18,150	2,184	7,692	16,598	2,158	824	1,591	1,932	16,827	36,339	2,160
1997	8,361	18,693	2,236	8,583	17,272	2,012	1,032	1,574	1,526	17,976	37,539	2,088
1998	7,615	16,080	2,112	7,605	15,219	2,001	1,721	2,156	1,253	16,941	33,455	1,975
1999	7,198	14,304	1,987	7,215	13,402	1,858	1,930	2,549	1,321	16,343	30,255	1,851
2000	7,572	13,547	1,789	7,075	13,239	1,871	1,891	2,706	1,431	16,538	29,492	1,783
2001	6,729	11,581	1,721	6,638	10,994	1,656	2,108	2,990	1,419	15,475	25,565	1,652
2002	6,680	11,136	1,667	6,221	9,950	1,599	2,806	3,563	1,270	15,707	24,649	1,569
2003	6,446	10,221	1,586	5,940	9,319	1,569	2,962	4,041	1,364	15,348	23,581	1,536
2004	5,917	9,706	1,640	5,241	7,707	1,471	3,729	4,884	1,310	14,887	22,297	1,498
2005	6,095	9,324	1,530	4,591	6,952	1,514	5,394	6,618	1,227	16,080	22,894	1,424
2006	7,388	10,157	1,375	4,613	7,399	1,604	3,910	6,031	1,542	15,911	23,587	1,482
2007	8,136	10,007	1,230	4,592	7,355	1,602	3,177	4,875	1,534	15,905	22,237	1,398
2008	7,500	9,846	1,313	4,164	6,106	1,466	3,774	4,358	1,155	15,438	20,310	1,316
2009	7,218	8,462	1,172	4,654	5,187	1,115	4,040	4,018	994	15,912	17,667	1,110
2010	7,701	8,310	1,079	3,977	5,099	1,282	3,964	4,670	1,178	15,642	18,079	1,156
2011	6,653	7,407	1,113	3,475	4,035	1,161	3,143	3,229	1,028	13,271	14,671	1,106
2012	6,057	6,734	1,112	3,125	3,673	1,175	2,953	3,119	1,056	12,135	13,526	1,115

資料：財務省 貿易統計 1990～2009年のヒラメ輸入量は2010年の下関、博多、大阪税関支署の韓国からの輸入ヒラメ活魚(HS.NO. 0301.99.220)とその他活魚(HS.NO. 0301.99-290)の比率から推定した。
農林水産省 漁業生産統計

図1 日本のヒラメ消費量の推移

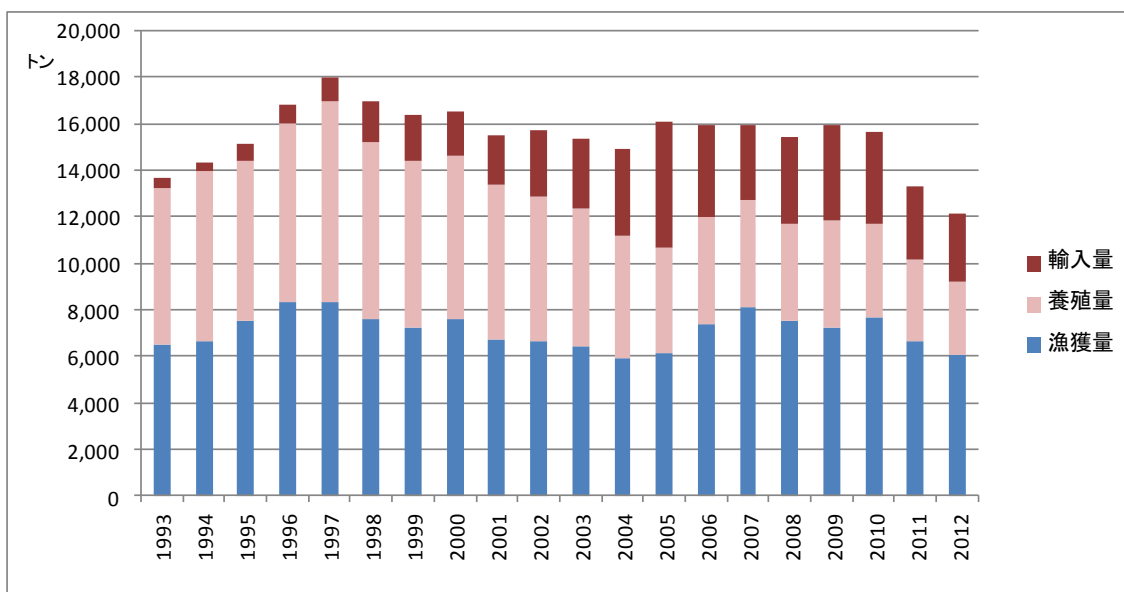


図2 日本と韓国の養殖ヒラメ収穫量の推移

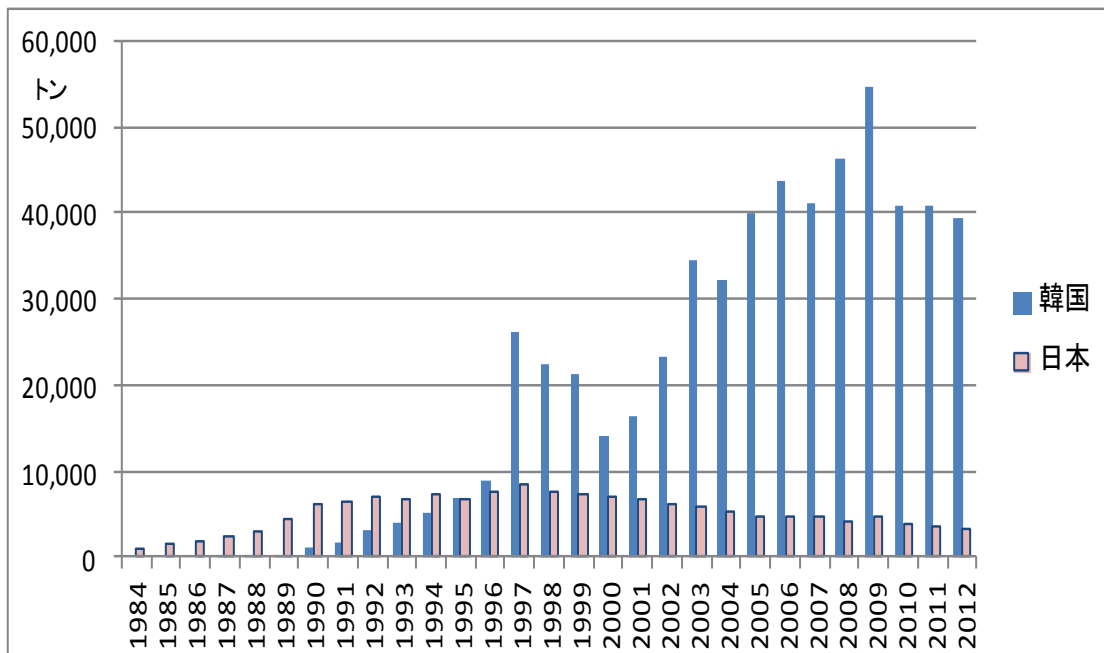


図3 漁獲、養殖、輸入ヒラメ価格の推移

